

「虫追いどん」で豊作祈願！ =内の原区=

久振だより

人口2461人
1344世帯
-第183号-
発行
久玉地区振興会
発行日
令和5年8月1日



7月9日「内の原虫追いどん」がありました。

「虫追いどん」は鎌倉時代からあったそうで歴史は古く、天草市の無形民俗にも指定されています。

午前 10 時、内の原十五社宮で神事があり氏子40名ほどが見守る前で、田代神主が「害虫を追い払い天候にも恵まれて豊作になりますように」と祈願されました。

その後、ほら貝、笛、鐘、浴衣姿女性の笹踊りに合わせて勇壮な太鼓踊りが奉納されました。以前は小・中学生が太鼓踊りをやっていましたが、少子化は内の原地区も例外でなく、今年は高校生と大人の迫力のある踊りとなりました。子供達が踊るとクスッと顔がほころびそうな振付があつて可愛かったのですが！

そして内の原の美しい水田地帯を隈なく練歩きます。移動時もほら貝、笛、太鼓、鐘の音は鳴り響きます。途中、笹踊りの女性に「皆さんは笹娘と言うんですか」と尋ねると「子供の頃は笹ババアと呼んでいました」との返事を笑って受け流しましたが、心では(皆さんはまだまだ素敵な笹娘です)と思っていましたよ！

太鼓踊りは小場原から松山まで9か所で披露され、おもてなしのビール・お茶も振る舞われました。特に介護施設の「あんじん」で十数年ぶりに頂いた「かき氷」は暑さも手伝って美味しさも格別でした。

地区総出の「虫追いどん」は盛會に終わり、今年も間違いなく豊作となる事でしょう。



区民有志の協力で除草作業

=吉田一区=

7月8日(土)、吉田一区では、熊本県天草広域本部の協力の呼びかけを受け、吉田区民22名の有志による国道(266号)、牛深高校前を中心に花いっぱい運動広場等の除草作業を実施しました。

翌日からの雨の予想もあり、当日は雨も心配されましたが、雨も降ることなく、午前7時前より作業開始。午前10時に作業終了。

特に、牛深高校前の歩道は、雑木・雑草が草丈も伸び困難でありましたが、皆様方の協力により無事終了することができました。一部、雑草は牛深地区で飼育されているジャージー牛のエサとして引き取っていただき、他の雑草等については、区が管理する天満宮の畑に持ち込んで、後日、消防署の許可を得て焼却することにしました。

参加者22名で事故も無く、周辺がきれいになり、皆さん喜んで帰宅されました。

また、近隣の方より差し入れもあり、感謝申し上げます。

吉田一区長 川邊榮喜



虫追いどん・「あんじん」での風景



☆久玉しろやま文庫☆ 「七夕あそび」



七月三日(日)十時からふれあいセンターでしろやま文庫の「七夕遊びの会」がありました。コロナで活動を休んでいましたので、久しぶりでした。

ミニ笹に飾りと短冊を付けて個人用として各自持ち帰り、もう一本は全員で飾り付けて、ふれあいセンターの玄関に飾ってもらいました。

参加者は小学生三人と地域ボランティアさんと保護者さん、スタッフの計十一人でした。

短冊には「おじいちゃん、おばあちゃんが元気で長生きしますように」「コロナが収まりますように」など思いがこもった心温まるものばかりでした。

最後に「たなばたさま」の歌を歌い、七夕ゼリーを食べて、楽しいひと時を過ごすことができました。



☆次回:しろやま文庫のお知らせ☆



8月6日(日) 10:00~11:30

「作って食べよう! パフェ」



持ってくるもの:エプロン・バンダナ・水筒・マスク・ハンカチ

※参加の申し込みはいりません。時間までに久玉ふれあいセンターに来てください!
(マスク着用)

山の浦地区で「夕市」 =山の浦区=

山の浦地区では毎月第4土曜日午後2時30分過ぎ頃から「夕市」が開かれています。

牛深芝生広場で開催している朝市メンバーの内4業者が話し合い、山の浦地区は高齢者が多く牛深まで遠く買い物がしづらい状況にあることから、少しでも喜んでもらえればとの思いから始めたそうです。

出店者は、うつぼ屋八兵衛・福吉のかまぼこ・川田果樹園・矢田農園さんです。

売られている商品は、カマスの開き・みりん干し・ウツボのゆがき・かまぼこ等の水産加工品・果樹・野菜・赤飯(季節で代わります)がありました。

最初は皆さんが集まり楽しみにされていましたが、最近では集客が減り少し淋しく感じています。

山の浦地区の皆さん今後ともよろしくお願ひします。



~ゴキブリ駆除は地区全世帯で~

=内の原区=

内の原区婦人部では5月27日にゴキブリ団子を作り、6月9日に内の原区全世帯と介護サービス事業所へ少しずつですが配布することが出来、「ゴキブリ駆除は全世帯で取り組む」事をスローガンに行いました。

内の原区より活動費の補助を受け、JA女性部の協力もあり昨年に続き配布致しました。

婦人部の方々の団子作りも上手になり、小さく丸められ数多く出来上がりました。

今年は昨年より少し遅くなりましたので、もう少し早く出来上がるように、会員の方と日程の調整など行い、今後も取り組んでいきたいと思ひます。

内の原区婦人部 小田和穂

